

運動の6ゾーンとなっております。健康ゾーンには、多目的グラウンド、災害時には管理機能も有する管理棟センタープラザ、備蓄倉庫など。里山ゾーンには自然を楽しむ森林などを残し、親子ゾーンにつきましては、多目的広場等を設置して公園としての全体的な整備を行う予定でございました。多目的広場3につきましても、フットサルの人工芝コートを3面配置する予定でございました。これが当初のしらさぎ運動公園の整備計画でございました。

この、審議会でご説明させていただきますのは、大幅に変更が生じてきたということで今回皆様にお集まりいただいたところでございます。東北の震災等の関係で国の交付金が、そちらの方に財源的に回ってしまい、予算が獲得しにくくなってきたというのも原因でございます。それと資材・労務費等の単価が大きく高騰してきたこともあり、今回の変更となりました。

工期につきましては平成26年度に完成する予定でございましたが、すべての部分が完成するのは平成28年度の予定でございます。事業費につきましても、当初見込んでおりました17億円から19億円に事業費も膨らんできております。

まず27年度から一部供用させていただく部分の説明をさせていただきます。

第1駐車場は2800㎡で一般車両92台、大型車両8台が駐車可能となります。

多目的グラウンドにつきましては、4,700㎡で当初人工芝のグラウンドを予定しておりましたが、初期の整備費用につきましては、人工芝で整備すると8,700万円あまりかかるということと、耐用年数が12年程度ということで、12年間もったとして更新費用に再度8400万円程度かかるという事で、ワンサイクルの費用が1億7100万円かかってくるということが試算の結果出てまいりました。

この1億7100万円を税金でまかなうのは、かなり負担が大きいということで、土系の舗装に変更するというところでございます。この土系の舗装にいたしますと初期の整備費用が2,100万円。毎年の維持管理費は80万円程度。12年間の管理経費を合計いたしますと、12年間で3060万円程度で済むということで、財政状況の厳しい中、また公共施設の最適化方針等、施設の見直し等を考慮いたしますと、1億4000万円という差額を全部税でまかなわなければならないということで、土系のグラウンドに変更させていただきたいと考えております。

したがって、土系のグラウンドになるということで、フットサルで利用することはできなくなりました。

このためゲートボールのラインはラインを常設とさせていただきます。テニスコートについては差込の支柱と、ラインがすぐ引けるように、テニス用のポイントを地面に埋め込むことと致しました。また、グラウンドゴルフにも十分利用可